

安曇野市豊科郷土博物館



特別展

絵馬ものがたり ～安曇野の庶民の祈り～

2007.12.1(土) - 24(月)



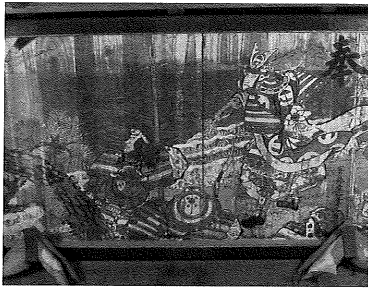
- 主催 安曇野市豊科郷土博物館 ■後援 安曇野市教育委員会
■入館料 大人：300(240)円 小中学生：150(120)円 (小中学生は20人以上の団体料金)
■開館時間 9:00-17:00 ■休館日 月曜日(12/24は閉館)

安曇野市豊科郷土博物館 <http://toyohaku.jugem.jp/>

長野県安曇野市豊科4289-8 〒399-8205 TEL0263-72-5672

■JR大系線豊科駅から徒歩15分 ■JR篠ノ井線田沢駅から車で10分 ■長野自動車道豊科インターから車で5分

特別展開催にあたって



新田義貞 稲村ヶ崎(部分)
真々部諏訪神社



素姜鳴尊八岐大蛇(部分)
中萱熊野神社



加藤清正虎退治の図(部分)
及木伍社



神功皇后と武内宿彌(部分)
熊倉春日神社

日本では古来、神は馬に乗って人前に現れると信じられていました。そのため、祈願成就や、満願成就御礼に生きた馬を奉納する慣わしが生まれましたが、生きた馬を奉納することが困難になると、馬は木や土で作ったものや、板に描かれたものへと姿を変えました。やがて、それらが絵馬へと変容し、同時に貴族や武士の文化であった絵馬奉納の習俗は民衆の「祈りのかたち」ともなりました。

安曇野においても多数の寺社に絵馬が奉納され今に伝わっています。

今回は市内に伝わる江戸末期から明治の「ものがたり」を描いた絵馬を中心に約20点の資料を展示しました。

本展をご覧になって、郷土の絵馬に描かれた当時の人々の願いから素朴な生活や信仰をひも解き、庶民にとって身近な芸術でもあった絵馬の美しさを再発見し、現代に残る小絵馬奉納につながる歴史への理解を深めていただければ幸いです。

★特別講座★

「親子で作る押絵の絵馬」

日 時 12月15日(土) 午後1:00-4:00
講 師 松本ベラミ人形店 三村隆彦さん
会 場 安曇野市豊科郷土博物館 2階学習室
対象・定員 小学生の親子15組(一般の方も参加できます)
受講料 1,200円
内 容 松本や安曇野に伝わる伝統文化「押絵」の歴史について学びつつ、実際に簡単な押絵の絵馬を作り、企画展の期間中「現代の絵馬」として展示にも参加していただきます。
受講料・定員・持ち物等ありますので、詳細は博物館へお電話にてお問合せください。

安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289-8

TEL・FAX 0263-712-5672

URL <http://toyohaku.jugem.jp/>

■主催 安曇野市豊科郷土博物館 ■後援 安曇野市教育委員会

■入館料 大人:300(240)円 小中学生:150(120)円()内は20名以上の団体料金

■開館時間 9:00-17:00 ■休館日 毎週月曜日(12/24は開館)

